

第629号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2021年8月16日
 発行責任者 喬木村公民館長 徹
 市瀬 徹
 編集責任者 公民館編集部 長 志
 仲田 久 志
 印刷 龍共印刷株式会社

新議員だ 聞きまわった(議席番号順)

※各議員の回答をそのまま掲載しています

六月に行われた村議選は定員に満たず、無投票で一〇名が当選となった。候補者が選挙戦を通して自分の主張を述べる機会がなく、村民の皆さんが候補者の考えを聞くことができなかった。そこで、公民館編集部では、左記の問いについて各議員に聞き、館報で紹介することに。議員の皆さんの考えを知り、議会への関心を高めたい。

おがはらみちほ
小川原美智穂(60)
 阿島北 無・1期



問1

・三遠南信自動車道とリニア中央新幹線工事に起因する環境問題
 ・人口減少、少子高齢化
 ・苺狩り以外の観光資源の創生
 ・三遠南信自動車道とリニア中央新幹線開通後の未来構想
 ・防災・減災意識

問1 現在、喬木村が抱える重要課題を挙げてください。(五項目以内)
問2 今回、立候補を決意された理由は何ですか。また、四年の任期中に、力を入れて取り組みたいことは何ですか。
問3 今回初の欠員選挙となりました。今後の議会改革について、考えをお聞かせください。

椋鳩十ものがたり 71

『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

椋鳩十全集十四
 「カガミジン」
 昭和四十四年

「その一」

「クヌギの林である。クヌギの葉はすっかり落ちつくして、はだかの木になっていて、年若い男が、その林の中にしゃがんでいた。年若い男の前方には、イノシシが二頭、横たわっている。イノシシは、頭を、射ぬかれていた」

年若い男から少しはなれて、七人の男たちが落ち葉の上にひざをついて、頭をたれていた。年若い男は、イノシシの近くにいざりよった。

を生かした議会改革ができれば、良いのではないかと考えます。

ふくざわみちなり
福澤一成(63)
 阿島南 無・1期



問1

・地域、各分野における担い手不足
 ・ガイドウェイード跡地活用による地域活性化
 ・暮らしやすい道路、水路の計画づくり
 ・児童、生徒の減少傾向における教育環境整備
 ・上下水道の維持管理

問3 休日夜間議会開催などの議会改革に取り組みたいと考えている。議員一人一人が、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を発信し続けること、関心を持って頂ける努力をし、住民の皆さんの声

理由
 ・村民の思いで創る未来の喬木村でありたい
 ・暮らし続けたいと思える村を次世代につなげたい
 抱負
 ・安心な子育て環境づくり
 ・多様な連携で創る共生社会による福祉の向上

さとうふみこ
佐藤文彦(51)
 阿島南 無・2期



問1

・少子高齢化、人口流出等に伴う人口減少と地域経済縮小への対策
 ・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通による高速交通網時代を見据えた対応
 ・公共施設の老朽化への対応
 ・地域医療課題への対応

問3 議会の多様性を創出する環境は進んでいます。今後は村政により多くの方々に参加をお願いし、特に若い世代や子育て世代の皆さんのご意見が反映される環境整備を行い、そこから行動にはいる…」
 「うむ、山のごぶの中に、たしかにおるぞ」と源助は思った。人差し指の先につばをつけて空に向かってつきあげた。風の方向を調べているのである。
 風はふもとの方から吹き上げていくことを知った。これならイノシシに、人間や犬のおいを感づかれることはない。
 しばらく、のんきなことをしていたが、ぬくくと立ちあがった。
 やつきやうをとりだすと、
 仲間からも返事の合図がきた。
 「いけー」
 ひと声、犬たちに、源助は声をかけた。
 待っていましたとばかり、犬たちは、しげみの中にとびこんでいった。



「源助じい、若く三吉に、特別目をかけていた。…三吉を腕ききの狩人にしたててやりたかった。…三吉と二人だけでイノシシ狩りにやってきたのもそのためであつた」
 二人だけでは、山のまわりを調べるわけにはいかなかった。
 「丘をこえたところに、熊野山はあつた。…源助じい、山をにらみながら、狩りの方法を考えた。…源助じい、おかみさんをなくしてからひとり暮らしである。一人暮らしといつても、三頭の猟犬といつしよに住んでいる。
 「猟犬というやつは、しこむのじゃねえ。子どものよ

あの時 この時

猛烈なゲリラ豪雨に襲われることが多くなった。降り出して数分で道が河川のようになったり、行き場を失った雨水がマンホールから噴水のように吹き出したりにしている。ニュースが頻繁に流れるようになった気がする。地球温暖化による異常気象が原因である。
 「持続可能な開発目標」、SDGsという言葉が聞くようになった。横文字は分かりにくい、要は様々な意味で持続可能な社会をめざす取り組みを加速していくことだ。環境分野ではゼロカーボン(二酸化炭素排出実質ゼロ)を二〇五〇年までに達成することをめざす様々な取り組みが増えてきた気がする。エネルギー消費量を減らすことと再生可能エネルギー生産量を増やす両方向の取り組みが大事だと思ふが、我々が今すぐにも取り組めることは、エネルギー消費量を減らすこと、つまり、省エネな生活を心がけることだ。
 一人での取り組みの成果は極僅か、塵のようなものだ。しかし、一人一人がゴミの削減などの地道なことにコツコツと取り組むことが、大きな目標を達成することにつながる。だ。

「一人一人がゴミの削減などの地道なことにコツコツと取り組むことが、大きな目標を達成することにつながる。だ。」
 (館長)

下平 貢(55) 無・2期



・脱炭素社会に向けた諸施策
・防災・減災施策
・高速交通網時代に向けたインフラ整備
・産業振興施策

問1

・新型コロナ禍による経済活動への影響と生活様式の変化に対応した施策。早期平準化に向けた取り組み。
・令和二年七月豪雨災害からの復興

人口減少社会に伴う各方面での担い手不足

・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道開通に向け、新しい時代に対応した地域作り

・公共施設の長寿命化対策

問2 一期四年間、総務産業建設常任委員長の任を頂き広範に亘り勉強させて頂きました。任期中は村を始め地域に対し何一つ功績を残せていなかったのではないかと自問しています。住民付託に少しでも応えられたいと思ひ一期チャンスを受けます。

・次世代を見据えた地域作り

議員に限らず、地域の役員の手不足も深刻です。

喬木俳句会

文月句会詠草

梅雨明けや土の香運ぶ野良帰り 筒井 政美
夕焼けを背にして耕の手を止めず

七夏の短冊に込め老ひの夢 宮島 高枝
梅雨明けで眠れる稚児のえくぼかな

山畑に採らず仕舞いの夏野菜 秦 恭子
振り上ぐる鍬の光や夏の朝

乱鶯の声こだまして谷に満つ 村山たか子
大花火果てる閨間の山家かな

・共に取り合いながら、役割分担をする中で地域社会を構成していかねばならないと思ひます。そうした観点からも、次なる地域のリーダーの育成が急務ではないかと考えます。

福澤眞理子(68) 富田 共・2期



問1 人口減少 少子化・村からの流出・高齢化・健康寿命の延伸・農林業の後継者不在、不足・田畑の荒廃化

問2 決意の理由は、村民の皆さんの身近な要求を表現していきたいと思つたこと。取り組みたいこと

・「産業の発展と充実」に重点を置き「働く場と雇用」を確保する。

問3 議会としての機能をきちんと

・「関係人口」を増やし、

喬木俳句会

梅雨晴れや野菜畑の輝けり 原 美恵
暮れなぞむ静寂に牙ゆるる月見草

夏椿地に落ちてなほ白ゆかし 西元くにこ
煽ぐ風昔語りの団扇かな

ワクチンの医師腕捲り夏白衣 市橋 ヨリ
汗染みのゴルフバッグや吾子思ふ

祖母と居し夏桑畑の跡も無し 松葉 孝子
会へぬほど会ひたき人や夏の雲

傘雨忌やしじまに流る笛の夜 吉川てる子
オリパラに永遠の寡黙や兜太かな

後藤澄壽(74) 小川上平 共・2期



・リニア中央新幹線と三遠南信道の最大限の活用方法
・自分の思いの中に、まだやり足りないことがあるように感じたため。

問2

・後継候補の擁立に取り組んできましたが、結果選任に至りませんでした。こうした場合、もう一期との声に押し入れ候補を決定し、二期八年の経験と、村のくりんネットやイベンプロデュースの経験を生かし、リニア、三遠南信の開通を控えた喬木村の将来の為に村づくり、住民の福祉向上へ向けた取り組みに力を入れて行きたいと考えています。

問3

・多様な人材確保のために、休日夜間議会の取り組みを行って来たが、今回の選挙では実を結ばなかった。議会議員のなり手確保のために、今後も様々な研究提案等継続的に行うと共に、村民の皆様にも多大な協力を頂きたい。議会改革とは社会の変化に常に対応した改革を継続的に行う事であり、新しい事に反抗し、慣習に戻ろうとする人に立ち向かう事であると考える。

問1

・人口減少に歯止めをかけるために、総合計画の推進をおこなう。

・リニア・三遠南信自動車道開通に向けた対応に向けた取り組みを行う。

・持続可能な社会を構築するための事業への取り組みをおこなう。

問2

・福社教育問題を中心課題として、社会文教常任委員会に八年間所属し取り組んできた中で、さらなる喬木村の福祉の充実を保健福祉課と連携して、県・国への提案を行う事。また、統合保育園建設による保小中連携のメリットを最大限生かせるよう研究・提案を行い、教育委員会と連携して喬木の宝が個性豊かに輝けるように育成する。

問3

・誰もが議員に出られることを目指して議会改革に取り組んだことは、間違いないと思ひますが、取り組んだ改革を、本来、住民の皆様に向かつて発信すべきところ、その発信先を間違えていたと思ひます。議員の思いや、活動を住民の皆さんにしっかりと伝え理解を得るところから早急にすすめなければならぬと思ひます。

編集後記

毎晩毎晩、祈りながら騒ぎながらオリンピックを見て。庭の犬も落ち着かないことだろう。リモコン片手にあつちの試合こつちの試合とまあ忙しいこと。一番感動したのは女子ソフトボルの金メダルだろう。三十九歳の上野投手に最後のマウンドを任せ、みごとその大役を果たした。十三年間ソフトボールをやる意味がわからずやめようかと悩んだ上野選手。続けることの価値を教えた麗華監督。二人が抱き合い涙する姿に陰でこそりティッシュで鼻をかむふりして涙をぬぐう自分がいた。

後藤章人(68) 阿島町 無・3期



問1

・少子高齢化を含め、人口減少問題。
・コロナ禍における住民の皆様、安心安全の生活確保
・災害対策

木下温司(74) 富田 無・3期



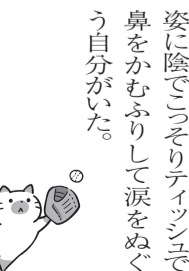
問1 少子高齢化、人口の減少

中森高茂(62) 阿島北 無・3期



問1 人口減少に歯止めをかけるために、総合計画の推進をおこなう。

後藤澄壽(74) 小川上平 共・2期



問1 少子高齢化、人口の減少

